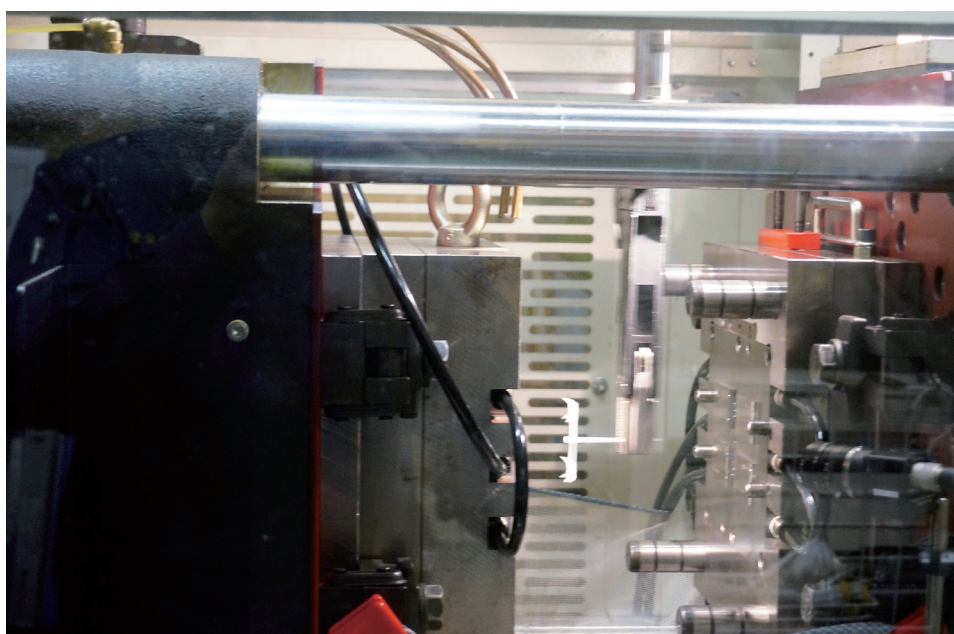


三島金型 株式会社

プラスチック成形と射出成形金型で新分野に挑戦

オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可
小ロット
量産対応



カセット方式の金型構造で短納期・低コストに対応

業務内容

電池分野を中心にプラスチック部品をトータル提案

昭和38年に「三島プラスチック製作所」として創業して以来、工業用のプラスチック部品を手がける。昭和50年代に大手電池メーカーが開発したコイン電池の絶縁体を担当したことが転機となり、成形加工技術とプラスチック金型製作で高い評価を得る。同年には社名も変更。リチウムイオン電池の時代に入ってもその評価は変わらず、現在は絶縁体ガasketを供給する。0・01mmの部品精度に加えて、流動・変形解析システムによる不良予測と改善提案、さらには電池部品分野における豊富な実績を背景に業界では確固たる地位を確立している。

強み 設計段階から問題点を予想し、効率生産を提案

一般的にプラスチック成形は、顧客からの図面をもとに金型を作製し、製品を作り出していくわけだが、図面通りでは樹脂がスムーズに流れなかったり、樹脂の充てんを確実なものにするために速度を調整しながら成形を行わなければならないといった課題がたびたび発生する。また成形後、製品に「反り」が発生するなどの問題もある。そういった中で、早くから流動・変形解析システムを導入。設計段階から問題点を予測し、効率の良い生産ラインの構築や量産体制への早期移行などへの提案につながっている。特に変形解析システムを所有する中小企業は数少なく、蓄積されたノウハウが大きな武器になっている。

品質管理

全数目視検査で不良品ゼロを実現

現在は絶縁体ガasketを月産約3500万個のペースで生産する。品質管理面での特徴は、顕微鏡を使った全数目視検査で、不良品ゼロの出荷を実現する。検査部門で活躍しているのは女性従業員で、100分の1mmの誤差を見分ける。育児休暇や再雇用など福利厚生面の制度を充実させることで熟練者を確保する一方で、佐竹禎行社長は「福利厚生を充実した結果、不良品が一目でわかるぐらいの高い精度で良品ばかりを作り出している」と胸を張る。新製品開発のコンペ案件があれば、必ずメーカーサイドから参加を要請してくる具合で、生産面でも品質管理面でも絶対の自信をみせる。



女性パート従業員による全数目視検査

今後の展望

自社製品の開発に注力

持ち込まれる難題に対して、あきらめない。ギブアップしないをモットーに事業展開する。そして平成24年から3年間は補助金や助成金などを活用してあらゆることに挑戦してきた。その成果のひとつがゴルフのドラコン大会用ティー「ホークティ」で、自社製品として販売を開始した。プロからの評判も上々で佐竹社長は手応えを感じている。また動物実験用経口チューブにも期待を寄せる。独自のインサート成形技術で長さ100mm、直径2mmのポリプロピレンに直径0・7mmの貫通穴を設けた。「医療業界の勉強もしながら進化させていきたい」と熱く語る。

COMPANY PROFILE

三島金型株式会社

全国26

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

創業以来、プラスチックの射出成形を手がけてきました。昭和50年代には大手電池メーカーが開発したコイン電池の絶縁体を担当。その実績が認められ、リチウムイオン電池の絶縁体ガasketでは世界一の出荷数を誇った時期もありました。現在は新技術の開発にも積極的に取り組み、ゴルフ用具や動物実験器具など新分野への事業展開を進めています。

創業以来の誠実経営で積み上げた実績を礎に、新たな技術開発に飽くなき挑戦を続ける会社です。

代表取締役 佐竹 禎行さん



■主な事業内容

プラスチック成形・射出成形金型の設計・製作、流動・変形解析

■主な取引先（納入先）

パナソニック（株）、FDK鳥取（株）

住所 〒566-0046 摂津市別府 1-14-17

TEL / 06-6349-8904 FAX / 06-6349-8400

創業 / 昭和38年9月 設立 / 昭和43年8月 資本金 / 1,000万円 従業員 / 27名

<http://www.mishimakanagata.co.jp>